

---

# 路上演説

うめひじき

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
路上演説

【Nコード】  
N5686U

【作者名】  
うめひじき

【あらすじ】  
短編。願いを叶える男と平和を謳う男の話。

「私は願いを叶えられる力を持っている。お前になら使ってもいいと思った」

突如目の前に現れた、黒いスーツを着る長身の男。20代後半から30代半ばくらいの年齢だろうか。汚れ一つないピカピカの黒いスーツと帽子と革靴が、すごく似合うダンディーな男。口を開くと、整えられた口髭が動いた。

「私はお前の演説に心を打たれた。この世の悲惨さを哀れんだ、この世の平和を唱える演説にだ。誰でも自分にとつての平和がある。だがしかし、それがあるからといって何かしようというわけではない。しかしお前は違う。人前で恥ずかしがりも悪びれもせず、演説している」

そう、私は演説をしている。戦争ばかりする戦争馬鹿がつくつた、こんな国と世界が不満だからだ。今もどこで誰かが撃ち殺されているのが不満だからだ。自分の身だけ案じる隣人達が不満だからだ。ただただ、不満だからだ。

私は立ち上がる決心をした。こんなクソみたいな世界を、平和で住み良い世界につくり変える為に。だが道を歩く者達は、誰も私の話を真面目に聴いてはくれなかった。真面目に話を聴いてくれたのは、この黒いスーツの男だけだ。何日も何ヶ月も演説をした。だが、この男だけだった。

「どうする。君の願いは何だ？」

……私の願い。この悲惨で残酷な不満だらけの世界を、平和で住

み良い世界に変えること。この男の言うとおり、人それぞれ自分にとっての平和がある。そう、ならば、だから、私の願いはこれだ。

「私の不満をとってくれ」

「……いいだろう、願いを聞き入れよう」

そう言うと、男はどこかへと姿を消した。その後、路上演説をする男の姿を見たものはいない。

（後書き）

人それぞれの平和、  
ですから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5686u/>

---

路上演説

2011年10月9日10時28分発行